

ACT Japan 2021 年度 年次ミーティング プログラム (第1報)

2021年12月24日

2021年度年次ミーティング開催責任者

首藤 祐介 (広島国際大学)

日程：2022年3月19日(土)、3月20日(日)

テーマ：「文脈的行動科学の種を現場に植える、育てる、広げる」

文脈的行動科学 (Contextual Behavioral Science: 以下 CBS) は機能的文脈主義を哲学とし、行動分析学と関係フレーム理論を基礎として持ち、アクセプタンス&コミットメント・セラピーを中心とした臨床行動分析による実践の源となるパラダイムです。そして、このパラダイムは動物行動から人の持つ言語についての基礎、応用、そしてそれを橋渡しする研究を含み、教育、臨床、組織マネジメント、予防、文化、社会問題等と多岐にわたる分野の実践が行われ、まるで大海のような深さと広さを持ち合わせています。近年の CBS 研究の急速な拡大もあり、その全貌を知ることはますます難しいものとなっています。

そこで、今回のミーティングでは「現場 (実践)」を一つのキーワードにこの大海に臨み、現場で CBS の実践を始めること、高度な実践ができるようになること、そしてその実践をさまざまな領域で行うことについて、広く議論したいと考えています。

場所：オンライン実施。Zoom 等を利用します。

参加条件：ACT Japan の会員、あるいは心理関連領域の専門職および大学生・大学院生、および本会活動に関心のある方。

参加費：会員=0円

非会員=3,000円

大学生・大学院生(会員非会員を問わず)=0円

リモート懇親会費：0円(会員非会員問わず)

※なお、ACT Japan への入会申込みは、随時、ホームページから受付けておりますが、入会は理事会での審議にて決定されます。次回の理事会は1月末を予定しております。3月の年次ミーティング開催時に、会員扱いとなるのは、次回(1月末)の理事会にて入会が承認された方まで、が対象となります。

内容：

1日目 2022年3月19日(土)

12:30~13:00 受付・主旨説明

13:00~14:30 ミニワークショップ：どのように問題の核心に迫るのかクライアントとの会話と行動測定から(仮題)

14:30~15:00 休憩

15:00~18:00 ワークショップ：ACTの実践を関係フレーム理論の観点からまなぶ

18:30~19:00 ポスターセッション・懇親会の主旨説明

19:00~ リモート懇親会

2日目 2022年3月20日(日)

10:00~10:30 総会

10:40~12:10 大会企画シンポジウム①: ACTで組織を変える

12:10~13:00 休憩

13:00~15:00 大会企画シンポジウム②: 企画中!

15:00~15:30 閉会

ポスター発表: 昨年同様に Slack を利用した形式を予定しています。詳細については第2報にてお知らせいたします。

参加申込の方法: 参加は全て事前の申し込みが必要です。詳細については第2報にてお知らせいたします。

●運営事務局の連絡先: [actjapan2021meeting\(AT\)gmail.com](mailto:actjapan2021meeting(AT)gmail.com)

※(AT)を@にしてから利用ください

※年次ミーティングに関する問い合わせは運営事務局へお願いします

以上